

第59期

# 株主通信

平成18年6月21日～平成19年6月20日



**KING JIM**



代表取締役社長

## 宮本 彰

株主の皆様には、日頃より格別のご支援ご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。第59期（平成18年6月21日から平成19年6月20日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、資源価格の上昇や円安が懸念されながらも、企業業績の伸びや設備投資の拡大、雇用の安定などを背景に景気は緩やかに回復を続けてまいりました。

当業界におきましては、依然厳しい状況ながらも、個人需要のなだらかな回復に加え、民間企業を中心とした法人需要も、回復の兆しが見えはじめきました。

このような情勢のもと、当社グループは新商品の投入など積極的な販売活動を展開すると共に、経費の削減に努め、原材料価格の上昇に対応してきました。

この結果、当連結会計年度の売上高は303億9,566万円（前連結会計年度比0.3%増）、経常利益は18億5,913万円（前連結会計年度比13.9%減）、当期純利益は10億5,843万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。

# 株主の皆様に ご挨拶申し上げます。

今後、当社グループが対処すべき重点課題は、事務用・個人用ファイル、テプラなどの既存事業における、細分化した顧客のニーズを掘り起こす商品開発力の強化とシェア拡大、生産面ではグローバルな生産体制の推進によりコストダウンを図り、収益の拡大を目指すことにあります。

連結子会社では、フォトフレームを中心とした株式会社ラドンナ及び個人需要向け文房具と時計の企画・販売を行う株式会社Gクラッセでは、景気回復の影響の大きい個人需要を獲得するため、商品開発力の一層の強化と販路の拡大を行います。

また、生産子会社では本年4月に一般文具の主力商品キングファイルの生産拠点として設立した、KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.の本稼動に向けた工場建築と生産体制の構築を推進してまいります。

事業拡大と共に、経営の透明性を高めるための情報開示の充実、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、CSR活動の推進などにより企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績及び財政状況の推移

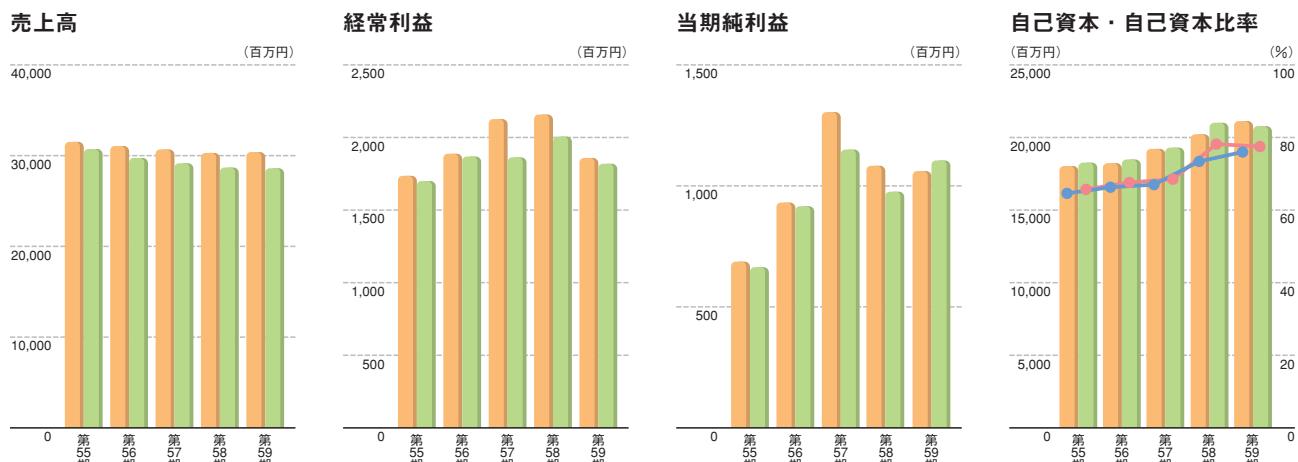
	第55期 (平成15年6月期)	第56期 (平成16年6月期)	第57期 (平成17年6月期)	第58期 (平成18年6月期)	第59期 (平成19年6月期)
	連結 単体	連結 単体	連結 単体	連結 単体	連結 単体
売上高 (百万円)	31,517 30,726	31,064 29,743	30,683 29,149	30,299 28,602	30,395 28,608
営業利益 (百万円)	1,785 1,658	1,888 1,780	2,099 1,800	2,088 1,843	1,762 1,628
経常利益 (百万円)	1,736 1,700	1,882 1,869	2,127 1,863	2,158 2,006	1,859 1,819
当期純利益 (百万円)	687 664	931 916	1,305 1,150	1,083 976	1,058 1,105
1株当たり当期純利益 (円)	41.02 39.55	57.46 56.49	41.55 36.52	35.22 31.75	34.07 35.17
総資産 (百万円)	27,922 27,800	27,512 27,332	28,685 28,177	27,564 26,945	27,441 26,778
自己資本 (百万円)	18,037 18,268	18,234 18,485	19,214 19,302	20,221 21,012	20,859 20,744
自己資本比率 (%)	64.6 65.7	66.3 67.6	67.0 68.5	73.4 78.0	76.0 77.5
自己資本当期純利益率 (%)	3.9 3.7	5.1 5.0	7.0 6.1	5.5 4.8	5.2 5.3

(注) 1.記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2.1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。

3.平成16年8月6日付で、普通株式1株を2株に分割しております。

4.自己資本=純資産合計-新株予約権-少数株主持分



■連結 ■単体

自己資本比率：●連結 ●単体

## ■ 営業の概況

一般文具におきましては、ヒット商品となりました「取扱説明書ファイル」について、A5サイズやクロスタイプ、ボックスタイプ等を投入し、市場での認知度も定着しつつある次世代型商品「クリアーファイル<ヒクタス>」については大量収納タイプを、機能性を追求した「フラットファイルクイックイン<紙製>」を発売するなど、ラインアップを拡充しました。また、新機構の「とじ込み表紙イージーイン」や自分仕様に表紙がアレンジできる「ジャケットホルダー」を新たに発売し、積極的な販売を展開しました。

連結子会社の(株)ラドンナでは、フォトフレームのベビーシリーズやブライダルシリーズの拡充の他、「デジタ

ルフォトプレーヤー6.5」や合皮製の「フォトアルバム」「カードケース」を発売し、拡販に努めました。

この結果、一般文具の売上高は146億4,450万円（前連結会計年度比2.0%増）となりました。

電子文具におきましては、オフィス向けのスタンダードモデルの「テプラ」PRO SR530、ベーシックモデルの「テプラ」PRO SR330、オフィス向けの低価格機種「テプラ」PRO SR130を発売し、需要の裾野を広げる活動を展開いたしました。

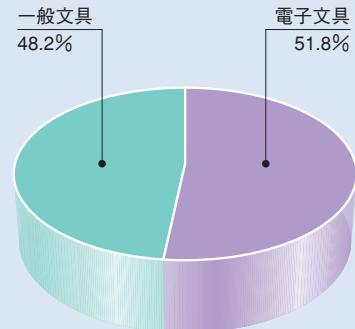
この結果、電子文具の売上高は157億5,116万円（前連結会計年度比1.2%減）となりました。

事業部門別売上高

(単位：千円)

区分	期 別		第 58 期 (自平成17年6月21日) 至平成18年6月20日		第 59 期 (自平成18年6月21日) 至平成19年6月20日	
	売 上 高	構成比	売 上 高	構成比	売 上 高	構成比
	%		%		%	
一般文具	14,355,478	47.4	14,644,507	48.2		
電子文具	15,943,892	52.6	15,751,160	51.8		
合 計	30,299,371	100.0	30,395,667	100.0		

事業部門別売上構成比



●「解決！生活収納シリーズ」

(2007年7月25日より順次発売)



2005年12月に発売されて以来、好評の「取扱説明書ファイル」に続き、家庭内の整理・収納に特化した「解決！生活収納シリーズ」を展開いたしました。

家庭内には領収書、保険証、ポイントカード、家電製品に付随するケーブルやACアダプタなど、必要でありながら整理整頓に困るものが多くあります。

「解決！生活収納シリーズ」では、各々の収納物の整理に適した、画期的な機能を備えたアイテムの開発により、家庭内の整理時にお役立ちできるラインアップを揃えました。

●「テプラ」PRO SR130

(2007年6月13日発売)



オフィス向けラベルライターとして、メーカー希望小売価格7,875円(税込)を実現しました。

低価格でありながら、PCで使い慣れたJIS配列に準拠したキーボード入力やオートカッターなど、オフィスでの使用に応える機能を搭載。

●ラドンナ

フォトフレーム

「ラドンナ」のフォトフレームは、高い品質とスタイリッシュなデザインで、ギフト需要を中心に百貨店シェアNo.1を誇っています。ブライダルやベビーなど、テーマに合わせた特長ある商品から、写真・スライドショー・ムービーを再生できる、デジタル写真立て「デジタルフォトプレーヤー6.5」など、幅広いラインアップで思い出の写真を素敵に演出します。



●Gクラッセ

個人向けファイル・腕時計

「Gクラッセ」では、素材や質感にこだわり、インテリアとのコーディネートにも最適な、デザイン性の高い個人向けのファイル・収納用品を展開。また、アイデアあふれる企画により個性豊かな商品を取り揃え、カタログギフトでも強い人気を持つ、腕時計や置時計を企画・販売しています。



# KING JIM IR CALENDAR

## 「キングジムCSR報告書 2006」を発行

2006年9月に「キングジムCSR報告書 2006」を発行いたしました。当報告書は、CSR (Corporate Social Responsibility) =企業の社会的責任の観点から、「環境経営の推進」「顧客への価値の提供」「社会との関わり」「マネジメント体制」等の内容について、株式会社キングジム及び子会社を含むキングジムグループの現状をまとめたものです。

キングジムでは、現在、部門横断的な「CSR委員会」を設置し、「CSR経営」を推進しております。当報告書を発行することにより、ステークホルダーの皆様にキングジムのCSR活動の現状をお知らせすると共に、自社についての客観的な現状認識を行い、責任ある企業として健全な成長を目指してまいります。



## 点字「テプラ」の新聞広告が、「第46回 消費者のためになった広告コンクール」で金賞を受賞

2006年11月、点字「テプラ」の新聞広告にて、(社)日本広告主協会が主催する「第46回 消費者のためになった広告コンクール」の新聞広告部門の金賞を受賞いたしました。

今回受賞した点字「テプラ」(「テプラ」PRO SR6700D)の新聞広告は、実際に製品をご使用いただいているユーザー様にご登場いただき、点字「テプラ」導入のきっかけや、点字ラベルを活用したサービスの内容などをシリーズでご紹介したものです。

当社では今後も、点字「テプラ」を活用した点字表示普及の啓発を通じて、ノーマライゼーション社会の実現に向け、一層の企業努力を続けてまいります。



2006

6月

7月

8月

9月

- ◎2006年6月期  
決算公表

IR情報

10月

11月

12月

2007

1月

2月

3月

- ◎2007年6月期第1四半期 決算公表
- ◎WPC EXPO 2006に出展
- ◎2006年度グッドデザイン賞受賞

- ◎2007年6月期  
中間決算公表

## 2007年6月期 中間決算説明会

2007年2月27日、東京・丸の内の大和証券・大和コンファレンスホールにおいて中間決算説明会を実施いたしました。

当日は、社長より投資家やアナリストの皆様に、中間決算の内容、経営計画の進捗、事業戦略の将来に向けてのご説明等を行いました。



## 三鷹市立井之頭小学校で点字を体験・学習する授業を実施

2007年3月19日、東京・三鷹市の三鷹市立井之頭小学校において、社会貢献活動の一環として「点字を体験・学習しよう」と題した出張授業を六年生を対象に実施いたしました。

この授業は、児童たちが点字を学ぶ上で、点字初心者でも簡単に点字翻訳できる点字「テプラ」を活用を通して、点字をより身近に、また、障がい者への理解も同時に深めてもらうことが目的です。

今後もこのような活動で、点字についての社会認識向上のお役に立ちたいと考えております。

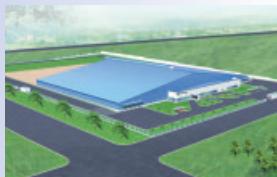


### ベトナムに子会社設立

2007年4月、ベトナム社会主義共和国ビンズン省へKING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.を設立いたしました。

主に日本国内の事務用ファイル需要に対し、積極的対応を行うため、コスト競争力の強化と多品目製造を目的とした生産体制を構築してまいります。

将来的には、事務用ファイル市場が拡大する中国等、アジア諸国に対する製造拠点をいたします。



ベトナム工場完成予想図

### ISOT2007に出展

2007年7月4日から3日間、アジア最大の文具展示会「ISOT2007」に出展し、好評の「取扱説明書ファイル」をはじめ、家庭内の領収書や保険証、カード類など、様々な収納物を効率的に整理するための新製品、「解決！生活収納シリーズ」の展示を中心に実施いたしました。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

◎2007年6月期第3四半期  
決算公表

◎2007年6月期  
決算公表

◎2007年6月期  
決算説明会  
◎第59回  
(2007年  
6月期)  
定時株主総会

### 組織機構改革

当社は、「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」ことを経営理念とし、創業以来、もの作りに情熱を捧げるメーカーとして、法人から個人までの幅広いニーズを捉え、顧客満足を追求した商品開発を行っております。

2007年6月に電子文具の開発を行う電子文具事業開発本部と事務用・個人用のファイルを中心に行う一般文具開発本部とを統合、開発本部を新設し開発業務の効率化を図っております。また、開発本部内に商品企画部を新設し、マーケティングの一層の強化を図っております。

### CSR活動の推進

当社では、行動指針で、顧客・社員・株主・社会に対する責任を明確にしておりますが、社会に対する責任の具体的行動として、CSR課題を部門横断的に検討するためCSR委員会を発足し、また各ステークホルダーに当社グループを知っていただくため「CSR報告書」を発行しております。

### 危機管理に対する取組み

当社の危機管理は、業務執行を行う各本部長、担当役員を中心となって日常での全体管理を行っております。また必要に応じ、各本部長、担当役員は、日々業務規程を整備し、危機管理体制を充実させております。

平常時においては、リスクマネジメント委員会がリスク分析等を行う体制とし、万一、損失の危険が当社の業績に重要な影響を及ぼすおそれが生じた場合は、各本部長または担当役員が社長および管理本部長に報告し、緊急検討委員会を開催しその対応を早急に検討する体制となっております。これらの状況は、取締役会、監査役会に報告され、また当社の業績に重要な影響を及ぼすとされる事項は、遅滞なく会計監査人に報告されると共に、適時開示等によりステークホルダーに開示される体制になっております。

### 「テプラ」の中国市場への進出

2007年10月にラベルライター「テプラ」シリーズを中国市場に展開する予定です。経済発展の目覚ましい中国で、更なる事業の拡大に努めてまいります。

# 連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:千円)

科 目	当連結会計年度 平成19年6月20日現在	前連結会計年度 平成18年6月20日現在	科 目	当連結会計年度 平成19年6月20日現在	前連結会計年度 平成18年6月20日現在			
<b>(資産の部)</b>								
流動資産	<b>15,745,097</b>	<b>15,927,471</b>	流動負債	<b>5,734,005</b>	<b>5,857,994</b>			
現金及び預金	6,866,433	6,534,250	支払手形及び買掛金	3,163,484	3,185,133			
受取手形及び売掛金	4,535,177	4,338,227	短期借入金	470,000	470,000			
① 有価証券	10,352	611,046	未払法人税等	610,947	584,585			
棚卸資産	3,472,587	3,597,476	未払金	711,581	842,947			
線延税金資産	119,110	78,849	役員賞与引当金	15,285	17,700			
その他	750,245	778,931	その他	762,706	757,628			
貸倒引当金	△8,810	△11,309	固定負債	<b>571,550</b>	<b>1,254,119</b>			
固定資産	<b>11,696,059</b>	<b>11,637,114</b>	③ 長期借入金	—	576,000			
有形固定資産	<b>6,900,789</b>	<b>6,749,557</b>	退職給付引当金	54,424	106,954			
建物及び構築物	2,711,267	2,765,475	役員退職引当金	172,226	198,845			
機械装置及び運搬具	1,651,976	1,544,315	線延税金負債	222,199	248,208			
土地	1,932,159	1,852,247	その他	122,700	124,112			
建設仮勘定	190,309	150,268	<b>負債合計</b>	<b>6,305,556</b>	<b>7,112,114</b>			
その他	415,076	437,249	<b>(純資産の部)</b>					
無形固定資産	<b>579,703</b>	<b>775,104</b>	株主資本	<b>20,677,074</b>	<b>20,185,125</b>			
のれん	299,503	364,321	資本金	1,978,690	1,978,690			
その他	280,200	410,782	資本剰余金	2,725,295	2,740,001			
投資その他の資産	<b>4,215,566</b>	<b>4,112,452</b>	利益剰余金	17,121,903	16,684,209			
② 投資有価証券	2,517,595	2,069,232	自己株式	△1,148,814	△1,217,776			
線延税金資産	8,163	95,980	評価・換算差額等	182,858	36,289			
保険積立金	971,669	1,097,861	その他有価証券評価差額金	253,569	203,495			
その他	887,407	1,021,937	為替換算調整勘定	△70,710	△167,206			
貸倒引当金	△169,269	△172,559	新株予約権	36,984	—			
<b>資産合計</b>	<b>27,441,156</b>	<b>27,564,585</b>	少数株主持分	<b>238,683</b>	<b>231,057</b>			
			<b>純資産合計</b>	<b>21,135,600</b>	<b>20,452,471</b>			
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>27,441,156</b>	<b>27,564,585</b>			

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (単位:千円)

科 目	当連結会計年度 自 平成18年6月21日 至 平成19年6月20日	前連結会計年度 自 平成17年6月21日 至 平成18年6月20日
<b>売上高</b>	<b>30,395,667</b>	<b>30,299,371</b>
④ 売上原価	19,416,526	18,950,614
<b>売上総利益</b>	<b>10,979,141</b>	<b>11,348,756</b>
販売費及び一般管理費	9,217,084	9,260,252
<b>営業利益</b>	<b>1,762,057</b>	<b>2,088,504</b>
<b>営業外収益</b>	<b>143,170</b>	<b>110,817</b>
受取利息	20,013	13,723
受取配当金	23,918	17,008
賃貸収入	16,412	16,200
為替差益	32,327	27,991
屑売却益	19,358	20,558
その他	31,139	15,336
<b>営業外費用</b>	<b>46,088</b>	<b>40,544</b>
支払利息	7,362	4,194
持分法投資損失	5,117	2,360
賃貸費用	10,791	5,765
株式取扱費用	20,438	19,863
その他	2,378	8,360
<b>経常利益</b>	<b>1,859,139</b>	<b>2,158,777</b>
<b>特別利益</b>	<b>3,055</b>	<b>7,441</b>
固定資産売却益	674	1,595
投資有価証券売却益	403	—
貸倒引当金戻入益	1,977	5,845
<b>特別損失</b>	<b>67,489</b>	<b>285,705</b>
固定資産売却損	6,224	60
固定資産除却損	61,139	120,376
投資有価証券評価損	—	11,999
貸倒引当金繰入額	—	147,506
減損損失	125	5,762
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,794,705</b>	<b>1,880,512</b>
法人税、住民税及び事業税	760,251	763,646
法人税等調整額	△12,322	28,902
少数株主利益	—	4,919
少数株主損失	11,653	—
<b>当期純利益</b>	<b>1,058,430</b>	<b>1,083,044</b>

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

### Point

#### ① ▶ 有価証券

社債の償還に伴う減少あります。

#### ② ▶ 投資有価証券

主に新規取得による増加であります。

#### ③ ▶ 長期借入金

吸収合併したキング産業(株)分の返済による減少であります。

#### ④ ▶ 売上原価

主に原材料価格の値上げによる増加であります。

## 連結株主資本等変動計算書 (単位:千円)

当連結会計年度 (自 平成18年6月21日 至 平成19年6月20日)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			新株予約権	少數株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年6月20日残高	1,978,690	2,740,001	16,684,209	△1,217,776	20,185,125	203,495	△167,206	36,289	—	231,057	20,452,471
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△620,736		△620,736						△620,736
当期純利益			1,058,430		1,058,430						1,058,430
自己株式の取得				△985	△985						△985
自己株式の処分		△14,706		69,947	55,241						55,241
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						50,073	96,495	146,569	36,984	7,626	191,180
連結会計年度中の変動額合計	—	△14,706	437,693	68,961	491,949	50,073	96,495	146,569	36,984	7,626	683,129
平成19年6月20日残高	1,978,690	2,725,295	17,121,903	△1,148,814	20,677,074	253,569	△70,710	182,858	36,984	238,683	21,135,600

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

科 目	当連結会計年度 自 平成18年6月21日 至 平成19年6月20日	前連結会計年度 自 平成17年6月21日 至 平成18年6月20日
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,039,167	△825,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598,832	△917,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,141,950	△906,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,823	15,619
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	332,209	△2,633,642
現金及び現金同等物の期首残高	6,359,576	8,993,219
現金及び現金同等物の期末残高	6,691,785	6,359,576

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

### Point

- ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益と減価償却費による増加であります。

# 個別財務諸表

貸借対照表 (単位:千円)

科 目	第59期 平成19年6月20日現在	第58期 平成18年6月20日現在
(資産の部)		
① 流動資産	<b>12,706,334</b>	<b>13,896,935</b>
現金及び預金	4,483,539	5,302,135
受取手形	929,714	990,953
売掛金	3,227,990	3,007,953
② 有価証券	10,352	600,720
製品	2,504,966	2,594,060
材料	361,760	349,911
仕掛品	51,024	49,742
貯蔵品	68,471	70,688
前払費用	49,612	42,933
繰延税金資産	114,582	71,880
関係会社短期貸付金	138,295	129,704
未収入金	664,525	681,441
その他	106,500	13,809
貸倒引当金	△5,000	△9,000
固定資産	<b>14,072,099</b>	<b>13,048,219</b>
有形固定資産	<b>5,790,611</b>	<b>4,713,976</b>
建物	2,316,271	1,783,849
構築物	98,993	118,912
機械装置	1,086,975	1,065,681
車輛運搬具	19,204	19,235
工具器具備品	389,603	420,424
土地	1,842,963	1,156,163
建設仮勘定	36,598	149,709
無形固定資産	<b>489,037</b>	<b>371,685</b>
のれん	244,543	—
商標権	516	187
ソフトウェア	224,160	351,752
電話加入権	19,817	19,745
投資その他の資産	<b>7,792,450</b>	<b>7,962,557</b>
投資有価証券	2,504,595	2,055,791
関係会社株式	1,686,268	3,217,427
出資金	7,210	7,210
関係会社出資金	1,321,116	78,462
長期貸付金	10,000	10,000
関係会社長期貸付金	629,300	549,444
破産債権・更生債権その他これらに準ずる債権	3,269	3,569
長期前払費用	3,577	3,291
繰延税金資産	—	93,155
保証金	452,562	641,161
長期性預金	200,000	200,000
保険積立金	971,669	1,097,861
協同組合積立金	6,510	12,020
その他	165,640	161,681
貸倒引当金	△169,269	△168,519
資産合計	<b>26,778,433</b>	<b>26,945,154</b>

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第59期 平成19年6月20日現在	第58期 平成18年6月20日現在
(負債の部)		
流動負債	<b>5,463,628</b>	<b>5,533,538</b>
支払手形	1,154,085	1,168,619
買掛金	1,861,813	1,852,918
短期借入金	470,000	470,000
未払金	709,622	788,565
未払費用	432,959	438,520
未払法人税等	547,929	541,767
未払事業所税	24,710	24,717
未払消費税等	62,621	25,961
前受金	58	72
預り金	113,558	124,491
設備支払手形	70,985	80,202
役員賞与引当金	15,285	17,700
固定負債	<b>533,200</b>	<b>399,023</b>
繰延税金負債	222,199	—
退職給付引当金	15,016	75,009
役員退職引当金	172,226	198,845
預り保証金	123,757	125,169
負債合計	<b>5,996,828</b>	<b>5,932,562</b>
(純資産の部)		
株主資本	<b>20,493,301</b>	<b>20,811,853</b>
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,725,295	2,740,001
資本準備金	1,840,956	1,840,956
その他資本剰余金	884,338	899,045
利益剰余金	<b>16,938,130</b>	<b>16,462,779</b>
利益準備金	362,100	362,100
その他利益剰余金	16,576,030	16,100,679
特別償却準備金	2,347	5,084
別途積立金	15,300,000	15,000,000
繰越利益剰余金	1,273,682	1,095,595
自己株式	△1,148,814	△369,618
評価・換算差額等	<b>251,319</b>	<b>200,738</b>
その他有価証券評価差額金	251,319	200,738
新株予約権	<b>36,984</b>	—
純資産合計	<b>20,781,605</b>	<b>21,012,591</b>
負債・純資産合計	<b>26,778,433</b>	<b>26,945,154</b>

## 損益計算書 (単位：千円)

科 目	第59期 自 平成18年6月21日 至 平成19年6月20日	第58期 自 平成17年6月21日 至 平成18年6月20日
売上高	<b>28,608,122</b>	<b>28,602,446</b>
売上原価	18,620,043	18,349,016
売上総利益	<b>9,988,078</b>	<b>10,253,429</b>
販売費及び一般管理費	8,359,304	8,409,979
<b>営業利益</b>	<b>1,628,774</b>	<b>1,843,449</b>
営業外収益	<b>241,319</b>	<b>208,894</b>
受取利息	20,428	16,427
有価証券利息	13,790	10,158
受取配当金	105,672	98,936
賃貸収入	31,963	31,397
為替差益	45,113	39,397
雑収入	24,350	12,577
<b>営業外費用</b>	<b>50,866</b>	<b>45,646</b>
支払利息	5,699	3,862
賃貸費用	23,621	20,435
株式取扱費用	20,438	19,863
雑損失	1,106	1,484
<b>経常利益</b>	<b>1,819,227</b>	<b>2,006,697</b>
特別利益	<b>18,201</b>	<b>7,000</b>
貸倒引当金戻入益	3,250	7,000
投資有価証券売却益	403	—
⑧ 抱合せ株式消滅差益	14,548	—
特別損失	<b>68,481</b>	<b>339,865</b>
固定資産売却損	125	60
固定資産除却損	55,819	109,381
投資有価証券評価損	—	11,999
⑨ 貸倒引当金繰入額	—	147,506
関係会社出資金評価損	12,410	65,155
減損損失	125	5,762
税引前当期純利益	<b>1,768,947</b>	<b>1,673,832</b>
法人税、住民税及び事業税	670,000	668,906
法人税等調整額	△6,854	28,667
<b>当期純利益</b>	<b>1,105,801</b>	<b>976,258</b>

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## Point

- ① ▶ 現金及び預金  
主にKING JIM (VIETNAM) Co.,LTD.設立に伴う出資による減少であります。
- ② ▶ 有価証券  
社債の償還に伴う減少であります。
- ③ ▶ 建物・土地  
主に吸収合併したキング産業(株)による増加であります。
- ④ ▶ のれん  
キング産業(株)の吸収合併によるものであります。
- ⑤ ▶ 投資有価証券  
主に新規取得による増加であります。
- ⑥ ▶ 関係会社株式  
キング産業(株)の吸収合併による減少であります。
- ⑦ ▶ 関係会社出資金  
主にKING JIM (VIETNAM) Co.,LTD.設立に伴う出資による増加であります。
- ⑧ ▶ 抱合せ株式消滅差益  
キング産業(株)の吸収合併によるものであります。
- ⑨ ▶ 貸倒引当金繰入額  
前期は差入保証金に対する貸倒引当金の繰入によるものであります。

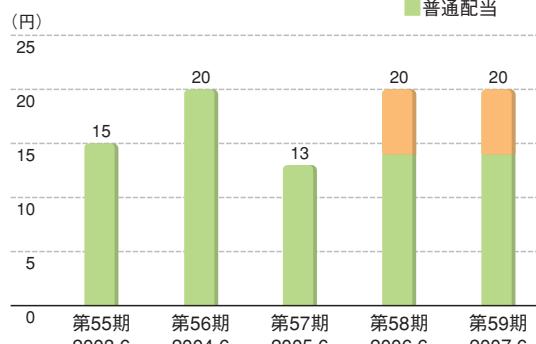
## 株主資本等変動計算書 (単位:千円)

第59期 (自 平成18年6月21日 至 平成19年6月20日)

	株主資本										評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算差額 等合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	利益 準備金	その他利益剰余金	特別償却 準備金	別途 積立金							
平成18年6月20日残高	1,978,690	1,840,956	899,045	362,100	5,084	15,000,000	1,095,595	△369,618	20,811,853	200,738	200,738	—	21,012,591	
事業年度中の変動額														
剰余金の配当								△630,451		△630,451			△630,451	
特別償却準備金の取崩し					△2,736			2,736		—			—	
別途積立金の積立て						300,000	△300,000			—			—	
当期純利益								1,105,801		1,105,801			1,105,801	
自己株式の取得									△985	△985			△985	
自己株式の処分			△14,706						69,947	55,241			55,241	
合併による変動額									△848,158	△848,158			△848,158	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）											50,581	50,581	36,984 87,565	
事業年度中の変動額合計	—	—	△14,706	—	△2,736	300,000	178,087	△779,196	△318,552	50,581	50,581	36,984	△230,986	
平成19年6月20日残高	1,978,690	1,840,956	884,338	362,100	2,347	15,300,000	1,273,682	△1,148,814	20,493,301	251,319	251,319	36,984	20,781,605	

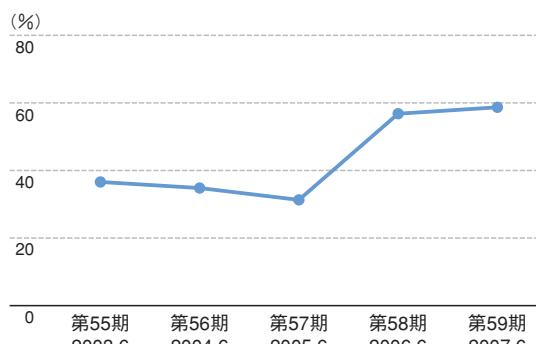
(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

### 配当金推移



(注) 2004年8月6日付で、株式を1:2に分割しております。

### 配当性向推移 (連結)



※当社の配当性向は、連結当期純利益の30%を基準としております。

# 会社概要

## 会社概要 (平成19年6月20日現在)

商 号	株式会社キングジム KING JIM CO., LTD.
創 業	1927年4月
設 立	1948年8月
資 本 金	19億7,869万円
本 社	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
営 業 所	東京支店(東京都千代田区) 名古屋支店(愛知県名古屋市) 大阪支店(大阪府大阪市) 福岡支店(福岡県福岡市) 札幌営業所(北海道札幌市) 仙台営業所(宮城県仙台市) さいたま営業所(埼玉県さいたま市) 横浜営業所(神奈川県横浜市) 広島営業所(広島県広島市) 他合計14カ所
工 場	松戸工場(千葉県松戸市) つくば工場(茨城県牛久市)
物 流 拠 点	松戸ロジスティクスセンター (千葉県松戸市) 東京物流センター(東京都江戸川区) 大阪物流センター(大阪府大阪市)
従 業 員 数	542人

本社ビル



## 役員体制 (平成19年9月13日現在)

代表取締役社長	宮 本 彰	
※ 専務取締役	吉 岡 隆 昭	管理本部長
※ 常務取締役	宮 本 英 晴	物流本部長 兼情報システム部担当
※ 常務取締役	橋 本 博 之	製造本部長 兼環境推進室担当
※ 取 締 役	岩 澤 勝 康	国際部担当 兼国内子会社担当
※ 取 締 役	西 尾 保	営業本部長 兼CS部担当
※ 取 締 役	横 田 英 人	開発本部長
※ 取 締 役	表 匡 聰	経営企画室担当
社外取締役	印 南 一 路	
常勤監査役	市 村 憲 治	
監 査 役	宇 田 川 登	
社外監査役	田 中 誠 勉	
社外監査役	遠 山 勉	
執行役員	橋 部 修	西日本営業統括部長
執行役員	伊 藤 和 敏	営業本部副本部長 兼営業企画部長
執行役員	泉 澤 光 春	管理本部副本部長 兼人事部担当 兼広報室担当
執行役員	萩 田 直 道	経営企画室長 兼知的財産室 兼監査室担当

※は執行役員を兼務しております。

## 連結子会社

社名	事業内容
株式会社キングビジネスサポート	オフィスサービス
株式会社Gクラッセ	文具事務用品、時計の企画・販売
株式会社ラドンナ	室内装飾雑貨の企画・販売
P.T.KING JIM INDONESIA	クリアーファイルを中心とした化成品ファイルの製造
KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.	キングファイル等用の金属製じ�の製造
KING JIM (VIETNAM) Co.,LTD.	キングファイルを中心とした紙製ファイルの製造
上海錦宮牧野国際貿易有限公司	文具事務用品の販売

## 関連会社

社名	事業内容
大連錦宮事務用品有限公司	文具事務用品の製造・販売

# 株式の状況

## IR NEWS

- 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を行うため、2007年8月2日～2007年12月7日の期間、自己株式200,000株を買受けております。
- 株主様への更なる利益還元を行うため、平成19年6月期（第59期）の当初年間配当予想1株当たり14円（平成18年8月1日付、平成18年6月期個別財務諸表の概要）より、創業80周年を記念して、6円の記念配当を実施。年間配当金は、1株につき20円とさせていただきました。

## 株主優待制度

株主の皆様のご支援に感謝の意を表すると共に、当社の事業に対するご理解を深めていただきたいため、毎年6月20日現在の株主名簿もしくは実質株主名簿に記載または記録された所有株式数100株（1単元）以上保有の株主の皆様に、株主ご優待を実施しております。なお、発送は毎年10月上旬とさせていただいております。

### ■ 株主優待内容

所有株数区分	優待内容
100株以上、1,000株未満	1,500円相当の当社またはグループ会社の商品
1,000株以上	3,000円相当の当社またはグループ会社の商品



フォトフレーム  
(写真は、平成18年度の例です)

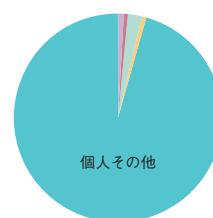
## 株式の状況（平成19年6月20日現在）

発行可能株式総数	普通株式 60,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 32,459,692株
株主数	4,373名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
エスエフピー バリューリアリゼーションマスター ファンド	3,124	9.63
東京中小企業投資育成株式会社	2,139	6.59
株式会社三井住友銀行	1,488	4.59
宮本 彰	1,451	4.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,011	3.11
宮本淑子	945	2.91
住友信託銀行株式会社	898	2.77

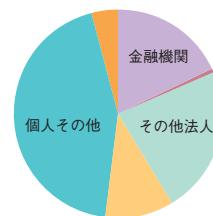
（注）当社は自己株式1,337千株を所有しておりますが、上記には含めておりません。

## 所有者別株主分布



金融機関	39名 ( 0.89%)
証券会社	27名 ( 0.62%)
その他法人	95名 ( 2.17%)
外国法人	30名 ( 0.69%)
個人その他	4,181名 ( 95.61%)
自己名義	1名 ( 0.02%)
計	4,373名 (100.00%)

## 所有者別株式分布



金融機関	5,804千株 ( 17.88%)
証券会社	191千株 ( 0.59%)
その他法人	7,418千株 ( 22.86%)
外国法人	3,449千株 ( 10.63%)
個人その他	14,257千株 ( 43.92%)
自己名義	1,337千株 ( 4.12%)
計	32,459千株 (100.00%)

## 株主メモ

- 事業年度 每年6月21日から翌年6月20日まで
- 定時株主総会 每年9月開催
- 基準日 定時株主総会 6月20日  
期末配当金 6月20日  
中間配当金 12月20日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL)  
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所 住友信託銀行株式会社  
本店及び全国各支店
- 公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
<http://www.kingjim.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社のホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 7962



株式に関するお問い合わせ先

### 株式会社キングジム 総務部

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

Tel 03-3864-7070

Eメール kabushiki@kingjim.co.jp



[www.kingjim.co.jp](http://www.kingjim.co.jp)

キングジムのホームページでは、  
“IR”ページをはじめ  
商品、商品活用情報など様々な情報を掲載しています。  
ぜひ、ご覧ください。



本書は、古紙パルプ配合率100%再生紙と大豆油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わずに「ECO綴じ」にて製本しています。